

一般質問(2)



健康増進の一環として行われた「しゃきしゃき体操」(保谷小学校)

健康増進の取り組み
質問 身近で運動できる等、市民が健康づくりに取り組む。

回答 みやすい環境整備をすべき。まち全体が健康都市であると実感できる環境整備を目指す。

質問 乳幼児健診について、田無方面からのアクセスの改善を図るべき。

回答 少しでも課題の解決につながるようなことがないか検討する。

障害者基本計画
質問 就労支援等、障がいのある方の支援を充実すべき。

回答 日中活動系サービス事業所の不足が懸念される。新規誘致等に取り組む。

子どもや高齢者、障がい者が健康で、安心して暮らせるまちへ
 大林 光昭(公明)

乳がん患者として見えたもの！
市民の命と健康を守る市の使命

納田 さおり(無所属)

質問 がん治療は一般に長期になることが多く大病院と地域の開業医等との連携が重要だ。取り組みを問う。

回答 市では健康づくり推進プランで医療機関と医師・歯科医師・薬剤師等の連携を位置づけている。

質問 乳がん検診受診率は平成24年度で23・1%。がんを知るのが怖くて受診から足が遠のくケースもあり、背景には病気がわかった後の生活不安もある。市のサービスを情報提供し不安に寄り添える体制が重要だ。

回答 主治医の指導の前提に相談体制をとっている。

質問 東大農場は市最大の地域資源であり、地区計画

質問 今後の進捗状況は重要。都、関係機関と協議が調い次第、用途地域等を見直し、個別説明を行う。

質問 コミュニケーション介護ロボット事業が総務省から国庫補助事業として勧められたと聞くが、市が断ったのはなぜか。

回答 単年度事業であり、後年度補助や自治体負担について不明確なため。

質問 障がい者の福祉作業所に対する家賃助成が今年度で終了する。さまざまな課題が解消されていないため今後も継続すべきだ。

回答 家賃助成ではなく日中活動系サービス推進事業費で補助し安定を図る。

要介護状態の軽減・悪化防止に
ケアプランの質の向上を図れ！

藤田 美智子(公明)

質問 ①市の介護保険予算が年々増加し140億円を超えた。それに伴い介護保険料も上昇し続けている。当市の要介護率の推移を問う。

回答 ①介護保険は本来、必要な介護サービスを適切に提供し、要介護状態の軽減、悪化を予防するものである。市は保険者としてこの責務を果たしてきたか。②地域



子育て支援の充実
質問 子育て支援事業の拡充を図るべき。

回答 子育て支援事業の充実が求められており、その拡充を図っていききたい。

意見 認可と認可外の保育料格差を是正すべき。

教育環境の充実
質問 タブレット端末導入等、ICT教育を推進せよ。

回答 新たな情報機器の導入も視野に入れ、環境の整備を実現していく。

質問 中学校で介助等の支援が必要な際の対応を問う。

回答 保護者、学校で対応方法を協議している。

意見 放課後子供教室は、教室と人材を積極的に確保すべき。



いこいの森公園・こもれびホール
市民会館・図書館の利便性向上を

佐藤 公男(公明)

いこいの森公園の利便性！
質問 いこいの森公園に指定管理者を導入すれば、手ぶらでパーベキューや駐車場の時間延長、パークセーターを売店やカフェにでき、利便性が向上する。ミストシャワーの導入も求める。

回答 指定管理者の導入とあわせ調査研究する。

こもれびホールの映写機！
質問 15周年を迎えたこもれびホールの映写機器のデジタル化を求める。

回答 5年間の改修計画の中で検討する。

スポーツ指導の暴力根絶！
質問 子どもたちのスポーツ団体の体罰や暴力行為をなくすための方策はあるか。

回答 スポーツ指導における暴力等は絶対許されない。西東京市体育協会と連携し、暴力行為が起きないよう取り組む。

図書館の利便性の向上！
質問 図書館の開館時間の延長、休日の見直し、休館日の撤廃等、図書館のさらなる利便性の向上を求める。

回答 指定管理者、休館日の撤廃も含め、市民サービス向上の視点で検討する。



いこいの森公園パーベキューコーナー(緑町3丁目)

市民会館の長寿命化！
質問 平成27年度に耐震改修を行う市民会館を、長寿命化する考えはないか。

障害者施策に全力で取り組み！
防災備蓄品を完備せよ！

小幡 勝己(公明)

犯罪を根絶して、全国一安全なまちを目指せ。
質問 ひつたりが増加しており、警察・防犯協会・活動団体と連携して啓発活動を行いたい。

質問 避難行動要支援者対策、備蓄品整備計画を問う。

回答 要支援者の範囲は平成26年8月に開催される防災会議の了承を得た後、個別計画を作成する。備蓄品は応急危険度判定資機材の購入、夏季災害のため各校に大型の扇風機を配備する。

質問 難病者支援は約40年ぶりに大改正し、平成26年5月23日に難病医療法が成立。取り組み状況を問う。

回答 平成27年1月から約

150疾患分の医療費助成をスタートし、その後夏から残りの約150疾患分の医療費助成をスタートする予定である。

質問 本市は、障害施設が少ない。作業所も8カ所、他市は、圧倒的に多い。公共施設適正配置による余剰施設等を充てるなど充実させよ。

回答 施設の転用・統合・複合化による質的・量的適正化の取り組みで、この考えのもとに取り組むたい。

質問 ひばりヶ丘南口駅前事業を早期に行え。

回答 平成26年度に実施設計、平成27年度以降に整備事業を実施する。

地域の絆とコミュニティ再生へ！
自治会等補助金制度実現で前へ！

浜中 のりかた(自民)

自治会等活性化補助金を実現!!有効活用を!!
質問 私が以前より提案し、実現した自治会等の補助金制度の具体的な内容は。

回答 自治会・町内会、マンション管理組合が行う地域福祉の推進事業や地域づくり等の事業に対して、団体ごとに1万2千円+世帯数×200円を限度に補助する。平成26年7月、10月と2回申請を受け付ける予定。

意見 補助金を大いに活用していただき、強固なコミュニティづくりを。

道徳教育の強化を!!
質問 道徳教育について問う

回答 道徳教育における我が市の独自の活性化策は、

自治会等補助金制度実現で前へ！
質問 地域の題材を取り上げた西東京市道徳教育読み物資料集の作成と市内研究指定校の研究成果の共有。

意見 下田半兵衛さんや西原自然公園など、市内に関する題材を使った道徳教育の資料集を活用し、道徳教育の充実を。

大雪によるビニールハウス倒壊の再建支援策を!
質問 2月の大雪での被害に対する現状の取り組みは。

回答 国や都は、今回の大雪に限った特例措置として、施設等の再建、修繕及び撤去等にかかる経費について助成する。今後、市も被災農業者向け支援事業の補助制度の準備に努める。